

病虫害防除技術情報第 13号

令和 7 年 10 月 17 日
三重県病虫害防除所

県内でチュウゴクアミガサハゴロモの発生が確認されました。

- 1 対 象 作 物：花木類、チャ、果樹類
- 2 対象病虫害名：チュウゴクアミガサハゴロモ
- 3 発生経過
 - (1) 令和 7 年 9 月に北勢地域のチャおよびカンキツにおいて、チュウゴクアミガサハゴロモと疑われる成虫及び幼虫の寄生が確認されました。
 - (2) 採取した成虫及び幼虫を名古屋植物防疫所に送付し同定を依頼した結果、チュウゴクアミガサハゴロモであることが確認されました。
 - (3) 本種は中国原産で、国内では平成 29 年に大阪府で初確認されて以降、関東以西で広く発生が確認されており、令和 7 年 10 月 15 日現在、19 都府県で特殊報等が発表されています。
- 4 本種の特徴及び被害状況
 - (1) 本種はカメムシ目です。成虫の前翅長（写真 a の矢印）は 14 mm 程度です。前翅は茶褐色～鉄さび色をしています。前翅前縁中央に三角形から半円の白斑があります（写真 a の丸及び写真 b）。
 - (2) 幼虫は白色で、腹部から背中にかけて白い糸状のロウ物質の毛束を広げており、背中には小さい黒点が見られます（写真 c）。
 - (3) 食性は極めて広く、ツバキ科、ミカン科、モクセイ科、クワ科、ブナ科、マメ科、モチノキ科等の様々な樹木類や、キク科草本植物に寄生することが報告されています。県内では、チャ、カンキツ類、イチジク、ツツジ類、キンモクセイで寄生を確認しています。
 - (4) 卵は寄主植物の太さ 2～4 mm 程度の 1 年枝に産み付けられ、その表面は綿毛のような白いロウ物質に覆われています（写真 d～f）。
 - (5) 成虫および幼虫が枝を吸汁し、集団で吸汁すると排泄物により、すす病が発生すると言われています。また、産卵された枝先が枯死する場合もあります。
 - (6) 県内では広く本種の寄生が確認されていますが、これまでに経済的な被害は報告されていません。

5 防除の注意事項

(1) 令和7年10月15日現在、本種に対して登録を有する農薬はないため、防除を行う場合は産卵枝を除去し、防虫ネットで被覆するなど、物理的・耕種的防除を行ってください。



農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

予報発行時の e メール連絡サービス(病害虫情報メール)の登録はこちら→

